

免疫グロブリン療法を受けられる患者さんへ

月/日	/	/ ~ /	/ ~ /	/
入院期間	入院当日（1日目）	（2～6日目）	（7～12日目）	退院日（13日目）
目標	入院について理解できる	治療について理解出来る 副反応症状（頭痛・嘔気・発熱）がでることなく、 日常生活を送ることができる		退院後の生活について理解できる
検査	主治医の指示により、検査があります （胸のレントゲン・採血・心電図） 	採血を行います（4日目・6日目） 		
薬剤	入院前より内服しているお薬をお預かりします 	・2日目より点滴治療が始まります （献血グロベニン製剤は5日間） 		
処置	・看護師にて適宜検温（体温・血圧・脈拍などの測定）を行います ・点滴の針を留置します（最長4日間で針を交換します）  ・点滴中は心電図モニターを装着します 			
活動 安静度	検温時に手足の筋力の評価を行います 特に制限はありません 点滴中は安静を心がけていただきますようお願い致します 			
排泄	特に制限はありません 必要時は、ナースコールにてお知らせ下さい。お手伝い致します			
栄養	常食・治療食など、病状に応じた食事を提供いたします			
リハビリ	入院時よりリハビリを開始します			
清潔	入浴・シャワー浴可能です ※身体拭きのタオルもお配りしております。必要時お手伝いします	※点滴投与中は入浴・シャワー浴は出来ません。 投与中以外は、入ることが出来ます。点滴ルートは看護師にて保護いたしますので、お知らせ下さい。 		
説明	・病状及び手術・検査について担当医より説明します ・入院生活について看護師より説明します  	点滴中、頭痛・吐き気・発疹などの 副作用が出現した場合は、 医師や看護師にお知らせ下さい。	医師が病状についての説明を 退院までの間に行います。	・退院後の説明します ・お薬が出た場合、 薬剤師が説明しお渡しします 

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます